

卸売市場活性化への提言

生鮮農水産物流通において欠かすことができない卸売市場の活性化の方策を探る



食農ビジネス学科

教授 **小野 雅之** (食料・農業市場研究室)

E-mail Masayuki.ono@setsunan.ac.jp

キーワード 生鮮農水産物 流通チャネル多様化 卸売市場 機能拡充

研究概要

背景

- 農水産物の流通には、多数の農漁業者からの集荷過程と多数の小売店や消費者への分荷過程、そして集荷と分荷を結ぶ中継過程も必要になります。また、生鮮農水産物の場合は、取引・物流の迅速性や品質評価（目利き）に基づいた公正な価格形成、多種多様な生鮮農産物の品揃えが重要になります。このような生鮮農水産物流通に求められる機能を卸売市場が担ってきました。
- 消費者の消費形態が生鮮食品から加工食品・調理食品に変化したことや、それにともなって加工品・半加工品の輸入が増加したこと、生鮮農水産物の流通チャネルが多様化したことなどによって、卸売市場を経由して流通する生鮮農水産物の量が減少し、その割合も低下しています。
- このような状況の下、政府の農産物流通政策の変化（「卸売市場法」抜本改正）もあって、卸売市場の活性化、特に経営戦略の視点を踏まえて機能拡充のための方策の策定が求められています。

目的

- 卸売市場の活性化のために求められる機能強化と機能拡充の方向の提示

主な成果

- 全国の卸売市場および卸売業者の動向を解析し、活性化につながる取り組みを把握しました。
- その知見に基づいて、卸売市場の機能拡充の方向をモデルとして提示しました（下図）。
- そのモデルを踏まえて、近畿地方のいくつかの卸売市場（大阪府中央卸売市場、神戸市中央卸売市場本場、同東部市場、同西部市場、尼崎市公設地方卸売市場、明石市公設地方卸売市場）の「経営展望」策定に参画しました。

連携への展望

卸売市場の機能強化・拡充の方向

【卸売市場開設者・卸売市場事業者との連携】

卸売市場法が抜本改正されたことによって、これからの卸売市場の管理・運営や卸売事業者の事業展開が大きく変わろうとしています。これまでの研究を活かして、提言・助言を行っていきます。

【農業・食品産業との連携】生鮮農水産物の出荷先として、また食品産業の仕入れ先として依然として重要な役割を持っている卸売市場機能を、どう活用していくかを考えていきます。

		事業展開のパターン	
		水平的事業展開・卸売機能内展開	垂直的事业展開
事業展開の方向性	既往事業の強化・効率化	既往卸売機能の強化 卸売業者間の提携 【A】	産地・出荷者との提携 仲卸業者との提携 実需者との提携など 【B】
	新規事業への展開による事業領域拡大	【C】 取扱品目の総合化 部類を超えた事業者の連携 加工・配送機能の拡充など	【D】 生産段階への進出 小売段階などへの進出 加工事業・外食への進出など

資料：中小企業金融公庫総合研究所「中小卸売業における新たな事業展開」2006年、p. 49および卸売市場実態調査に基づいて作成。



アピールポイント

これまでの農産物の流通、特に卸売市場に関する研究で得られた知見を、卸売市場の課題解決に活かします。